

1 施設の概要等

| | | | |
|-------|--|----------------------|--------------------|
| 施設名 | 広島県立視覚障害者情報センター | | |
| 所在地 | 広島市東区戸坂千足二丁目1-5 | | |
| 設置目的 | 無料又は低額な料金で、点字刊行物及び視覚障害者用の録音物を視覚障害者の利用に供する。 | | |
| 施設・設備 | 閲覧室, 録音室, 点字作業室, 発送室, 対面朗読室, 書庫, 会議室, 相談室, 事務室 | | |
| 指定管理者 | 5期目 | R3. 4. 1~R8. 3. 31 | (社福) 広島県視覚障害者団体連合会 |
| | 4期目 | H28. 4. 1~R3. 3. 31 | (社福) 広島県視覚障害者団体連合会 |
| | 3期目 | H23. 4. 1~H28. 3. 31 | (社福) 広島県視覚障害者団体連合会 |
| | 2期目 | H20. 4. 1~H23. 3. 31 | (社福) 広島県視覚障害者団体連合会 |
| | 1期目 | H17. 4. 1~H20. 3. 31 | (社福) 広島県視覚障害者団体連合会 |

2 施設利用状況

| 利用状況 | 年度 | | 目標値 [事業計画] | 貸出図書数 (タイトル数, 雑誌除く。) | 対前年度増減 | 対目標値増減 (達成率) |
|------|--|----|---------------|----------------------------|--------|-----------------|
| | 5期 | R3 | — | 21,722件 | △341件 | — |
| 4期平均 | H28~R2 | — | 22,063件 | 1,654件 | — | |
| 3期平均 | H23~H27 | — | 20,409件 | 1,983件 | — | |
| 2期平均 | H20~H22 | — | 18,426件 | 4,712件 | — | |
| 1期平均 | H17~H19 | — | 13,714件 | 1,308件 | — | |
| | H16 (導入前) | — | 12,406件 | — | — | |
| 増減理由 | ○サピエメンテナンスによる長期システム停止（3週間）により貸出数が減少した。 ○利用者のサピエ直接利用（ダウンロード利用）の増加により貸出数が減少した。 サピエ会員数488名（令和4年3月31日現在） | | | | | |

3 利用者ニーズの把握と対応

| | | |
|---|---|---|
| 調査実施内容 | 【実施方法】 | 【対象・人数】 |
| | 各種行事参加者や来館者と意見交換を行い、利用者ニーズを調査した。 | オルゴールコンサート（延べ38名）、サロン（延べ25名）、パン教室（延べ31名）他 |
| | 【主な意見】 | 【その対応状況】 |
| | コロナ禍で外出先が無くなり、社会とつながることができない。外出先として様々なイベントを開催してほしい。 | 外出先として気軽に参加しやすいよう、様々なイベントを企画開催した。オルゴールコンサート、太極拳&健康体操、フラダンス、パン教室、フラワーアレンジメント等。 |
| 実生活で役に立つIT機器利用方法を習得したい。1回で終わる講習会ではなく、継続的に開催してほしい。 | 広島県障害者ITサポートセンターと連携し、全6回コースのパソコンセミナー・タブレットセミナーを開催した。セミナー後にワークショップを行い、不明点を解消できるようにした。また、アプリによる副音声付映画の鑑賞や、出前館を利用して料理を注文するなど、実際の利用を想定した指導を行った。 | |
| 当事者団体の開催するイベントへ協力してほしい。 | JRPS 広島(広島県網膜色素変性症協会) 主催の「視覚障害者の音楽発表会」開催に際し、会場の提供やオンライン配信の準備等、運営の協力を行った。 | |

4 県の業務点検等の状況

| 項目 | | 実績 | 備考 |
|---------------|--|----|---------------|
| 報告書 | 年度 | ○ | 事業報告書, 収支決算書 |
| | 月報 | ○ | 業務実績報告書 |
| | 日報 (必要随時) | ○ | 施設・設備の不具合等の報告 |
| 管理運営会議 (毎月開催) | 【特記事項等】 センター職員による会議を実施 【指定管理者の意見】 事業の進捗状況の確認を行うとともに、事業計画書に基づいた管理運営を行った。 | | |
| 現地調査 (随時実施) | 【県の対応】 事業の実施及び管理運営状況について、適切に実施されていることを確認した。 | | |

5 県委託料の状況

(単位: 千円)

| | 年度 | | 金額 | 対前年度増減 | | 年度 | 金額 | 対前年度増減 |
|--------------|---------------|--------|--------|--------|--|-------|-------------------|--------|
| | 県委託料 (決算額) | 5期 | R3 | 34,273 | | 2,052 | 料金 収入 (決算額) | 該当なし |
| 4期平均 H28~R2 | | 32,221 | 2,827 | | | | | |
| 3期平均 H23~H27 | | 29,394 | 51 | | | | | |
| 2期平均 H20~H22 | | 29,343 | △15 | | | | | |
| 1期平均 H17~H19 | | 29,358 | △1,533 | | | | | |
| H16 (導入前) | | 30,891 | — | | | | | |

6 管理経費の状況

(単位: 千円)

| 項目 | | R3 決算額 | R2 決算額 | 前年度差 | 主な増減理由等 | |
|-------------|----------|----------|--------|--------|---------|-----------------------|
| 委託事業 | 収入 | 県委託料 | 34,273 | 32,744 | 1,529 | |
| | | 料金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| | | その他収入 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計(A) | 34,273 | 32,744 | 1,529 | |
| | 支出 | 人件費 | 24,416 | 23,854 | 562 | 職員給与、法定福利費の増 |
| | | 光熱水費 | 2,395 | 2,171 | 224 | 電気料金の増 |
| | | 設備等保守点検費 | 815 | 1,081 | △266 | 点字プリンター・小荷物用昇降機保守費用の減 |
| | | 清掃・警備費等 | 1,144 | 1,195 | △51 | |
| | | 施設維持修繕費 | 116 | 202 | △86 | 機器修理の減 |
| | | 事務局費 | 5,387 | 4,241 | 1,146 | 報償費、講師旅費交通費の増、広報費の増 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 計(B) | 34,273 | 32,744 | 1,529 | | | |
| 収支①(A-B) | | 0 | 0 | 0 | | |
| 自主事業 (※) | 収入(C) | — | — | — | | |
| | 支出(D) | — | — | — | | |
| | 収支②(C-D) | — | — | — | | |
| 合計収支 (①+②) | | 0 | 0 | 0 | | |

※ 自主事業: 指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

| | 項目 | 指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など) | 県の評価 |
|-----------|---------------------|---|---|
| 施設の効用發揮 | ○施設の設置目的に沿った業務実績 | <p>点字・録音図書の郵送貸出サービスを継続しながら、サピエのデジオンラインサービスの普及に努めた。書誌情報の充実とコンテンツの提供体制を整えるとともに、インターネット環境を使えない利用者へのレファレンス や図書貸出にも対応を行った。</p> <p>また、生活に役立つ情報の提供も行い、福祉の増進に寄与した。</p> <p>登録ボランティアの協力を得て、蔵書・雑誌・プライベート製作を行った。特に、児童・生徒を対象にした点字資料の利用拡大と、英語・数学・東洋医学など専門点訳ボランティアの養成・技術向上に努めた。</p> <p>また、音訳ボランティアのグループリーダーと連携して、例会や勉強会の内容を充実させ、蔵書の品質向上に努めた。</p> | <p>情報センターにおいて、所蔵又は製作した図書の貸出業務のほか、視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」への参画を通じ、デジオンラインサービスの普及など、利用者ニーズを踏まえたサービスの提供に努めている。</p> <p>ボランティアの養成と活動の促進に取り組むとともに、視覚障害者に対する情報提供の充実を図り、きめ細かなサービスの充実に努めている。</p> |
| | ○業務の実施による、県民サービスの向上 | <p>利用者個々の情報ニーズに応えるため、対面リーディング、プライベート製作、レファレンスサービスの充実に努めた。蔵書の製作の希望など、貸出窓口の声も反映できるように対応を行った。</p> <p>10 タイトルを1回のカードのやりとりで聴くことができる、メモリーカード (SD カード・USB メモリ) での録音図書の貸出しサービスを行い、時代に即した利用者ニーズに応えた。</p> | <p>関係機関・団体との連携を通じて、相談体制の強化を図るとともに、利用者のニーズに対応する取組など、視覚障害者とその家族に対するサービスの向上や支援の充実に取り組んでいる。</p> |
| | ○業務の実施による、施設の利用促進 | <p>初心者を対象に、音声ガイドを利用した視覚障害者向け IT 教室を開催したり、サピエ図書館を活用した読書の方法や、知りたい情報にアクセスして生活の中で利用できるようサポートを行った。</p> <p>“情報センター”として、文化の発信を行った。「音声解説付きDVD映画体験上映会」(映画本編の音源に場面を説明する音声ガイドを付けた耳で楽しむ映画の体験会)、「ピラティス」「フラダンス」「太極拳」「エアロビクス」「パン作り」「おしゃれ」などの教室を定期的で開催した。</p> <p>また、中学生の吹奏楽部による「クリスマスコンサート」や「手回しオルゴール体験会」などの企画イベントも開催した。</p> | <p>利用者への積極的な広報や、様々なイベントの開催を通じて、施設の利用促進に努めている。</p> <p>優先順位を踏まえた効率的な修繕を行っている。</p> |
| 管理の人的物的基礎 | ○組織体制の見直し | <p>更なる運営体制の効率化と適切な施設運営に努めていく。</p> | <p>平成 28 年度から臨時職員に代え、正規職員が配置されたところであるが、今後とも運営体制の効率化と適切な施設運営の検討が必要である。</p> |
| | ○効率的な業務運営 | <p>法人の役員、評議員や多くのボランティア等の支援のもとに、利用者のサービスの向上と効率的な業務運営に努めている。</p> | <p>現行の組織体制の中で、ボランティアの協力を得るなど、施設の効率的な運営に努めており、適正な運営がなされている。</p> |
| | ○収支の適正 | <p>法人の評議員会、理事会における審議や、監事による監査指導を受けるとともに、会計事務所との連携をとり、収支の適正化に努めている。</p> | <p>事業収支については、概ね計画どおりであり、適切な運営がなされている。</p> |

| | | |
|-----------|--|--|
| <p>総括</p> | <p>利用者の意見等を反映した図書の提供や、センター製作書籍の充実を図るとともに、点訳・朗読奉仕員の育成指導のもとに、サービスの向上に努め、地域のボランティアのサポートを実施した。</p> <p>また、各種事業の計画的な推進を図り、適切な施設運営に努めた。</p> | <p>従来からのボランティアの育成指導に加え、音声ガイド付きDVD映画体験上映会等のイベント開催にも積極的に取り組むなど、視覚障害者福祉に尽力している。</p> <p>また、事業収支は概ね計画どおりであり、適切な施設運営がなされている。</p> |
|-----------|--|--|

8 今後の方向性（課題と対応）

| 項目 | 指定管理者 | 県 |
|---------------------------|---|---|
| <p>短期的な対応 (令和4年度)</p> | <p>本年度はコロナ禍の影響で、関係団体においても活動自粛が続いた。コロナ禍の状況を考慮しながら福祉関係の行事にて当施設の利用案内を設置するほか、可能な限り職員が出向いて行くことを予定している。</p> <p>読書バリアフリー法施行に伴い、視覚障害者等が公共図書館を円滑に利用できるよう障害者サービスが推進されることが予想される。公共図書館のそのような動きには積極的に協力し、利用に関する情報提供を行う。</p> | <p>関係機関との連携強化や、図書の充実等に引き続き取り組み、利用促進を図る必要がある。</p> <p>県内のより多くの視覚障害者に情報センターのサービスが利用されるよう、積極的な広報活動等に取り組んでいく必要がある。</p> |
| <p>中期的な対応</p> | <p>ICT機器を活用できる視覚障害者と、活用できない視覚障害者が存在しており、多様な情報にアクセスできるか否かで両者に新しい格差が生じている。この格差を縮めるため、個々の視覚障害者のニーズに応じた形での機器の情報発信が求められている。また、各種機器を使うための学習会も必要とされている。</p> <p>コロナによる自粛生活の影響で視覚障害者は孤立した生活を余儀なくされている。視覚障害者の「孤立をなくす」取り組みとして、遠隔コミュニケーションアプリ（Zoom）を活用した対面音訳サービスやイベントを実施する。</p> <p>ツールを活用することで会場に移動することなく参加できるため、移動に伴う困難を感じていた視覚障害者にとって受け入れやすくなると考えられる。</p> <p>施設、設備の老朽化に伴い、恒常的に修繕や更新が必要となっている。県担当部署と協議し、センター機能の維持のため、的確に対応していく。</p> <p>県において、施設の改築・移転等の検討が行われる際には、指定管理者として、センター機能の一層の充実強化に向けて意見を述べていく。</p> | <p>IT技術の進展や利用者ニーズ等を踏まえ、視覚障害者に対する情報提供や支援の充実を進めていく必要がある。</p> <p>サービス提供体制の強化に向けて、情報センターにおける機器の更新等を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>施設、設備の老朽化に対して必要となる整備を、利用状況やニーズ等を踏まえて検討し、利用環境の向上に努めるとともに、適切な安全管理のため、緊急修繕が必要な場合には、早急に対応する。</p> <p>施設の改築・移転等の検討の際には、センターとの調整を図る。</p> |